

黒部を未来へつなぐ

まさゆきの8つの想い

1. 観光地整備と情報発信力の強化
2. 住み続けたいと思えるまちづくり
3. 安心・安全なまちづくり
4. 都市基盤の整備
5. 人口減少時代のまちづくり
6. 災害に強いまちづくり
7. 働き場所のあるまちづくり
8. 生き活きと生活ができるまちづくり

一般質問内容を掲載いたしました。市内外の方の多くの意見を伺いながら、市民の代弁者として市政のチェックと有効的な提言が出来るように日々精進し活動を進めています。黒部に生まれ、黒部に住む全ての人に夢を、そして地域で人生を全うできる社会にするために全力で取り組んでいます。誰も置き去りにしない「黒部の未来」を目指して！

成川正幸

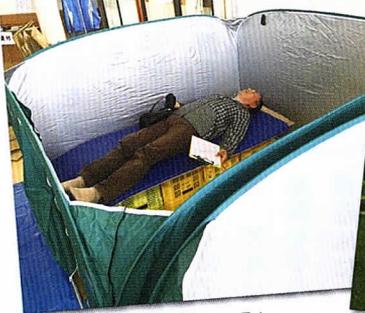
◎ご挨拶

今年は、黒部市新市施行10周年、新庁舎、北陸新幹線開業、市民病院新外来棟、国道バイパスなど黒部市にとって節目の年になりました。その年に市議会議員として働かせていただいている責任の重さに身が引き締まる思いです。議員になって1年。まだまだ力不足だと痛感していますが、一歩一歩着実に進んでいます。

Vol.3は、6月と9月議会の



避難訓練体験



大自然に守られた安全な富山県！いざという時に地域の皆様の安全確保を！

大布施盆踊りの歌い手として地域文化の伝承のお手伝い！



地域の歴史と伝統を伝えるため、歌い手として参加しました。

動物同行訓練視察



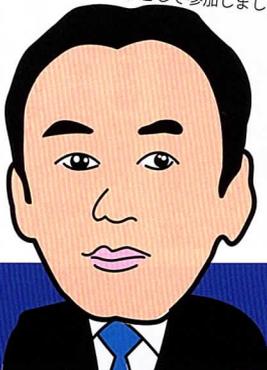
動物も家族の一員です！！動行非難としつけ訓練を視察と参加してきました！

<各種視察・調査・体験>

大布施地区要望現地視察



地域の方々からの安全で暮らしやすくするご要望から現地調査をしてみました。



黒部は今、分岐点！
先人の努力を次世代へつないでいきたい。

黒部市議会議員
なりかわ

成川まさゆき

facebookで活動公開中！



【黒部市議会 一般個人質問】
●6月議会

1. 市の情報発信について

問 「知りたい情報を迷わず探せる」「いつでもどこでも必要な情報が共有できるまち」に！スマートフォン対応の市ホームページが必要かと思いますが？

答 スマートフォンからのアクセス数が総閲覧数の約3分の1を占めるまでに増加している。次期更新予定である平成29年4月には対応を進めていきたい。

※昨今、通信技術の発達スピードには、めざましいものがあり、時代に遅れないように今後も注視していく。

2. 東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致について

問 立候補というアクションを起こしていただきたいが、その後の進捗・本市として考えは？

答 全国知事会「スポーツ施設データーベースサイト」に、バレーホールとアーチェリーの合宿施設として「黒部市総合体育センター」、「中ノ口緑地公園」をそれぞれの会場として掲載申し込んだ。

今後は、もう一つの「TOKYO20

20事前トレーニング候補地ガイド」への掲載に向けて、総合的かつ柔軟に判断していく必要があると考えている。

※平成26年12月議会に続けて2回目の質問

3. ペットと暮らせる特色ある地域について

問 犬の鑑札・狂犬病予防注射済票を小型犬にも合う形状に！

答 県内では、6市が小型のものを採用している。本市においても愛護と適正飼育を図る観点から、より装着に負担のない様式への変更について、前向きに検討したい。

※平成27年4月現在の市内犬登録数平成27年9月30日、現在2,136頭、市内7世帯に1頭飼われている。



問 市内にドッグランの整備を！
答 ドッグランは、施設の集客を見込める活用方法の一つと考える。しかし、多くの課題がある事から、他自治体の実例を見ながら慎重に検討していきたい。



問 市防災訓練にペット同行避難訓練の導入を！

答 昨年9月に本市において、富山県総合避難訓練時、県内で初めて人とペットが一緒に避難する「同行避難訓練」が実施され、非常に有益な訓練であったと認識している。今後、市の防災訓練メニューの一つに加えることが出来るかどうかを関係機関と協議のうえ、決定していきたい。

※8月30日に村椿小学校で開催された黒部市防災訓練において実施された。

4. 農林水産業の振興について

問 市外での農水産資源の流通・取り組みは？

答 昨年は、新幹線開業もあり、首都圏を中心にPRしている。

黒部米については、中京圏に加え平成27年度からは関東圏のスーパーでも販売が開始され新たな販路が拡大している。

問 市内での農水産資源の流通・取り組みは？

答 地産地消拡大のため、市場のニーズと生産者の把握に努め、適時情報提供できる体制と新たな販路について研究していきたい。



富山中央市場（富山市）

皆様のご意見をお気軽に是非、お寄せください。

<後援会連絡先> 成川正幸（なりかわ まさゆき） TEL(0765)57-1189
黒部市植木107-7 FAX(0765)57-1189
携帯090-1317-7155 Mail: masa.narikawa@gmail.com

【黒部市議会 一般個人質問】
●9月議会

1. 子どもの貧困対策について

問 教育・福祉・地域間ネットワークの形成を！

答 子どもの貧困が児童虐待やネグレクト（育児放棄）に密接にかかわっている場合もあることから、これらのケースについては、担当者と関係機関が随時検討会議を開き、定期的にネットワークによる支援を実施している。

しかし、教育・福祉・地域間のネットワーク形成がされていない状態であり、その方々をサポートする体制は整っていない。

将来的に継続して貧困問題に対応していくためにも、ネットワークを作り、みんなを支えていくことも必要であり、今後検討していきたい。

※今後も継続的に貧困対策に取り組んでいきます。



2. 公共文化施設の充実について

問 改修計画など予防保全の考え方は？

答 施設自体はもとより設備機器類を適正な状態で提供することは貸館としての当然の責務である。

このため、各施設は不具合が生じる前に機器を更新するなど、先を見越した予防保全に努めている。

財源的な理由から、翌年度以降に繰り越して実施している例があることも現実であるが、利用者が満足できるサービスと安全で快適な利用を確保し、今後とも、計画的な設備更新に努め、信頼される施設運営に努めたい。

問 バンドやダンスの練習場の設置を！

答 子供たちが様々な活動を通じて地域の人たちとの交流を深め、未来に希望を持てる環境を作っていくことは、地方創生における大切な目的のひとつでもあると考える。その活動の中で、バンド練習やダンス練習などでは防音された特殊な施設が必要なものもあると認識している。

今後、既存施設の利用状況や、既存の施設の防音設備の状況や利用者ニーズを確認し、更に検討していきたい。

3. 人口減少時代の観光戦略について

問 日本の玄関口である空港でのPRを継続的に行うてはどうか？

答 2020年の東京オリンピックを見据えた外国人観光客の誘致に有効であると考えるので、県や近隣市町と連携しながら、PR手法を工夫して取り組めるよう働きかけていく。

問 外国語のサイン表示やパンフレット制作に市として支援してはどうか？

答 外国語のパンフレットについては、平成25年度に英語、韓国語、繁体字の、平成26年度には中国語の4か国語のパンフレットを作成している。観光施設や旅館等へのこれらの支援については、ニーズを調査しながら、必要に応じて検討したい。



※議会質問項目のその後の活動

平成27年3月議会で質問したクラインガルテン（滞在型市民農園）。7月に長野県佐久市「佐久クラインガルテン望月」を視察してきました。黒部でのクラインガルテンに可能性を感じました。



長野県佐久市「佐久クラインガルテン望月」



なりかわ

黒部市議会議員

成川まさゆき

facebookで活動公開中！



I LOVE KUROBE



まさゆきの8つの想いノート 1年の自己評価と2年目の挑戦!

1. 観光地整備と情報発信力の強化

1年目は、「とやま観光未来創造塾」に再入塾し、観光のトレンドをあらためて勉強しながら、郷里会との連携、観光団体の事業明確化、Wi-Fi 整備、HP スマホ対応などの質問・提案を致しました。

今は、しっかりとした観光振興ビジョンの整備が求められています。

今後も引き続き、元観光業に従事した者として提言・実行していきます。

2. 住み続けたいと思えるまちづくり

ジオパーク推進と盆踊りなど故郷の歴史・文化の継承に努めました。

歴史・文化を途切れさせない為に2年目は、さらなる取り組みが必要だと考えています。

3. 安心・安全なまちづくり

市内には新しい施設・道路が完成し、人の流れが変わってきました。

交通事故が起こらないように、危険個所の整備、注意喚起 PR をする。その為には、今後も引き続き現状を確認して市に対して提言していかなければと思っています。また、犯罪も無くならない事から更なる施策提案をしていかななくてはと考えます。

4. 都市基盤の整備

北陸新幹線が開業し、黒部市内でも二次交通として巡回バスやデマンドタクシーが動き出しました。

検証しながら利用しやすいものにしていかななくてはなりません。利用者の意見を伺いながら提言していきたいと考えます。

5. 人口減少時代のまちづくり

日本の人口が減少している中、地方から首都圏への人口流出が止まりません。合わせて黒部の人口も減少しています。

実は、黒部市内でも地域によって人口増減動向の格差が見られます。

独自で検証しながら今後、提言・実行していきます。

6. 災害に強いまちづくり

災害が少ない黒部市だからこそ、やらなければならないと思っています。

いろんな場面を想定して、今までの災害避難訓練の検証、市内危険個所の安全対策。

やるべきことはたくさんあると感じています。

7. 働き場所のあるまちづくり

生活できる地域は、「働き場がある」ことが一番です。黒部に生まれ、現在住んでいる皆が働き場があり、稼ぐことが出来る。

1年目は、貧困家庭ゼロを目指し、障がいのある方も含めて全ての人が生活できる黒部市を作れるように、現状を勉強させていただきました。

今後は、最重要課題と認識し取り組んでいきます。

8. 生き活きと生活ができる地域に

「誰でも未来に夢が持てる」そしてその夢を実現するために頑張れる地域になるように環境づくりをしています。1年目は東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致や公共施設の充実などを提言してきました。

今後は、「黒部は楽しい!」にもっと近づけるために提言はもちろん、自ら何か仕掛けたいと考えています。

HOMEPAGE

成川まさゆきのホームページ出来ました!

議会質問や会議内容などを載せていきます。

<http://masa-narikawa.com/>



成川まさゆき
ホームページQRコード
こちらからどうぞ!



なりかわ facebook で活動公開中!

成川まさゆき



なりかわ

成川まさゆき後援会

〒938-0014 富山県黒部市植木 107-7
TEL & FAX (0765) 57-1189
Mail/masa.narikawa@gmail.com